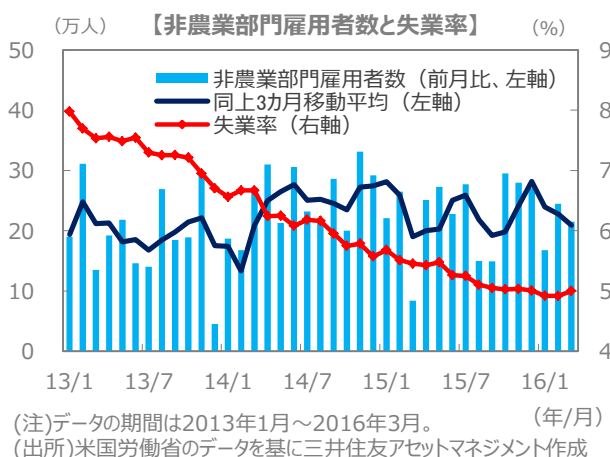


今日のトピック 米国の雇用統計 (2016年3月) 雇用は安定した増加基調を維持

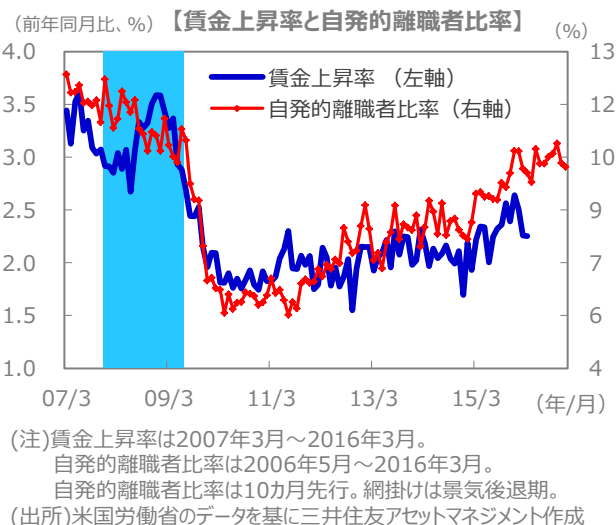
ポイント1 雇用者数は21.5万人増 サービス業が雇用増をけん引

- 2016年3月の非農業部門雇用者数は前月比 + 21.5万人の増加となり、市場予想（ブルームバーグ集計）の同 + 20.5万人増を上回りました。雇用の増加ペースは、3カ月移動平均で + 20.9万人と、+ 20万人超の水準を維持しています。
- 民間部門の雇用者数は、前月に比べ + 19.5万人ほど増加しました。業種別では、製造業が前月に続き減少となったものの、サービス業と建設業の雇用が拡大しました。



ポイント2 失業率は5.0% 賃金上昇率は前年比+2.3%

- 失業率は前月の4.9%から5.0%に上昇しました。労働需要（就業者数）は増加しましたが、それを上回るペースで労働供給（労働力人口）が増えたことによるものです。背景には、景気の拡大とともに求職活動を再開する失職者が増えてきたことがあります。労働市場の悪化を示すものではありません。
- 賃金上昇率は前月比 + 0.3%、前年同月比 + 2.3%となりました。前年同月比の伸び率は頭打ちの気配を見せていますが、労働需給が改善を続けていることを踏まえると、賃金上昇率は今後、底堅く推移すると考えられます。



今後の展開 利上げ継続だが、そのペースは緩やかなものとなる見込み

- 5%前後の失業率は、米国経済が完全雇用の状態にあることを示唆するものです。これを背景に2016年も利上げは継続される見通しです。
- もっとも、物価や賃金上昇率が比較的低水準にあることから、利上げのペースは緩やかなものとなる見込みです。

ここも
チェック! 2016年3月29日 財務勘定から見る「企業財務」(米国)
2016年3月17日 米国の金融政策 (2016年3月)

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。